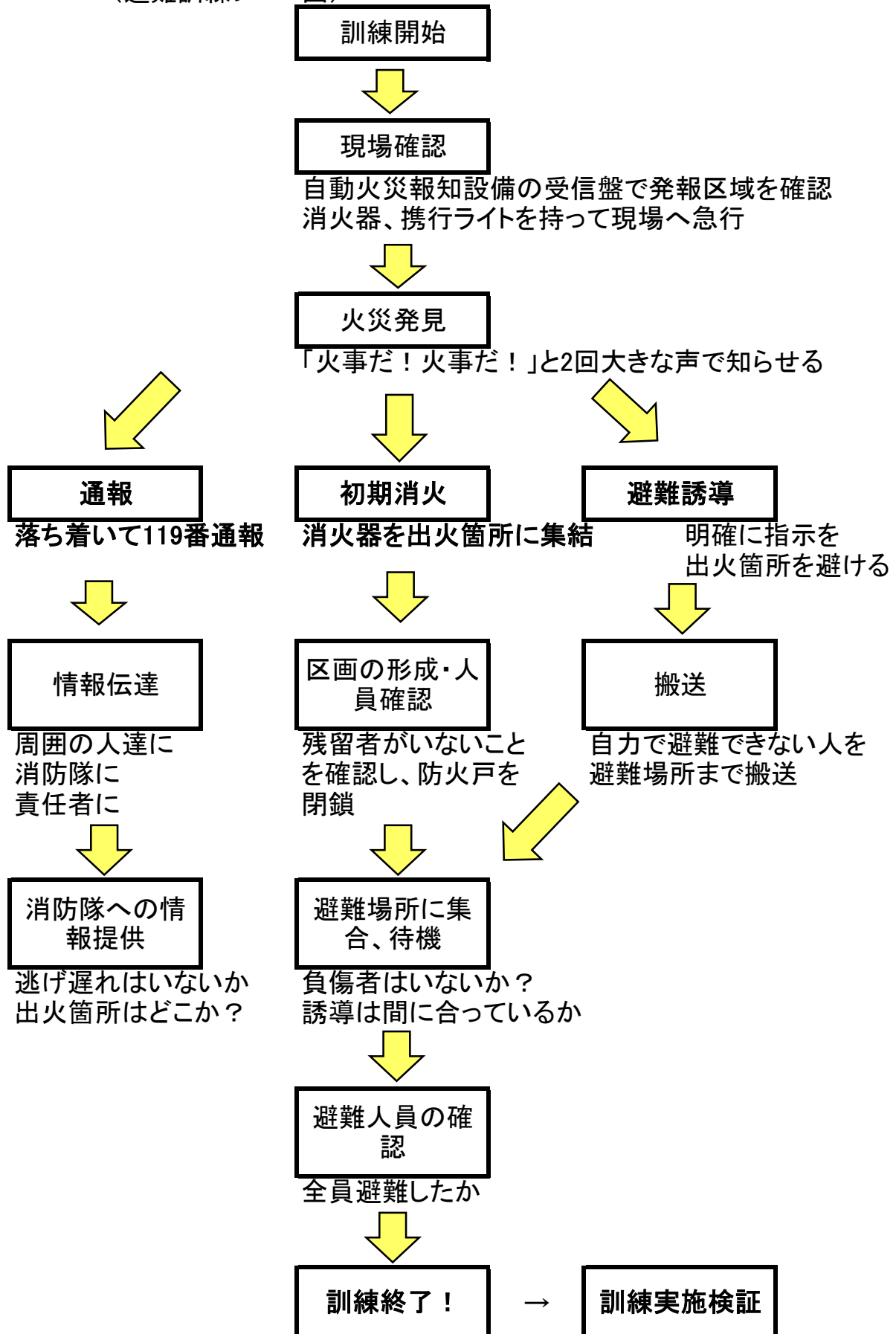


2. 避難訓練方法

(避難訓練フロー図)



1) 事前準備

① 訓練計画の作成

- ・訓練日の決定
- ・出火箇所の設定
どこから出火したのか設定する。
訓練時には出火箇所にタオルなどで目印をしておく。
- ・出火時間の設定
火災が発生した時間を設定する。
夜間に発生した設定にして必ず訓練を実施する
- ・役割分担の決定
通報班、初期消火班、避難誘導班を決定する。
訓練の指揮者は防火管理者、もしくは管理者とする。
- ・避難場所、搬送方法の決定
最終的にどこに全員を避難させるかを決める。
利用者様の避難場所までの搬送方法を決める。

② 必要な機材の準備

- ・通報訓練用電話・・・既存の電話を使用
- ・出火場所を表示するもの・・・タオル、旗
- ・消火器具、消火設備・・・備え付けの消火器、設備
- ・時計・・・出火から避難完了までの時間を計測

③ 訓練日の告知

- ・スタッフへの告知

④ 消防機関への事前通知

- ・所轄消防署へ消防訓練を実施することを通知し、訓練方法等を相談

2) 訓練実施

① 出火点の設定

- ・出火点に旗もしくはタオル等で目印を表示

② 現場確認の要領

- ・「火事だ～」と大きな声で2回叫ぶ
- ・事務所や機能訓練室にいる職員に状況を連絡

③ 通報、情報伝達

- ・現場確認者から火災発生の知らせを受けた場合は、直ちに消防機関への通報を行う。

119番通報例

通報者 119番発信

消防 「はい、119番消防です。火事ですか、救急ですか？」

通報者 「火事です」

消防 「場所はどこですか？」

通報者 「〇〇市△△町□丁目□番地 〇〇です」

消防 「建物は何階建てですか？燃えているのは何階ですか？」

通報者 「〇階建の〇階が燃えています」

消防 「逃げ遅れた人はいませんか？」

通報者 「〇名が逃げ遅れています」

消防 「何が燃えているかわかりますか？」

通報者 「〇〇が燃えています」

消防 「近くに目標になる建物がありますか？」

通報者 「△△があります」

消防 「貴方のお名前と連絡先を教えてください」

通報者 「□□です。電話は〇〇—〇〇〇—〇〇〇です」

消防 「わかりました。すぐ行きます」

※この内容で約80秒です

2) 訓練実施

④ 初期消火

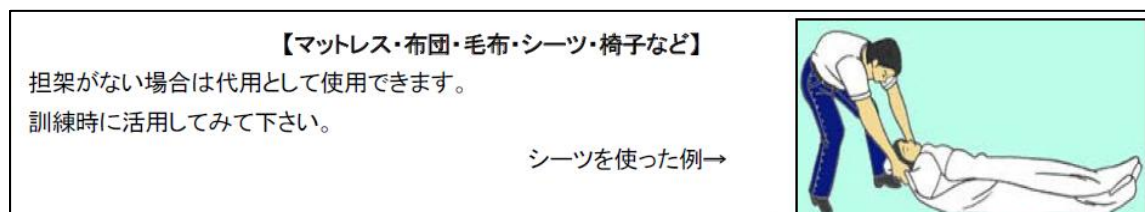
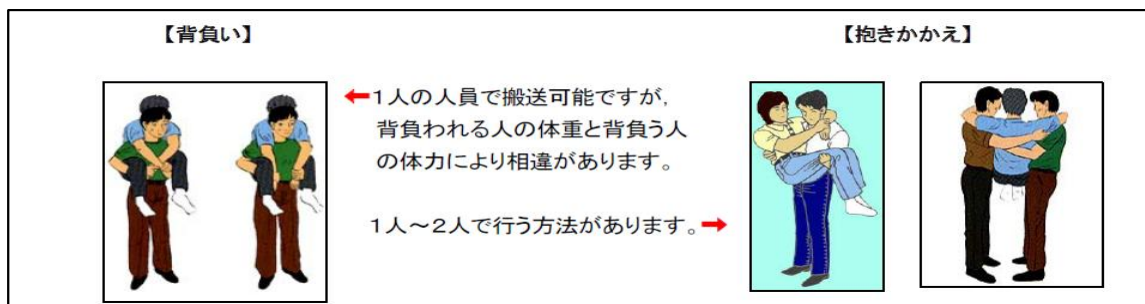
- ・施設にある消火器を使用
- ・火災の発生を覚知した消火班は、出火箇所に消火器を集結し初期消火活動を行います。

⑤ 避難誘導

- ・避難経路の選択
どこから、どのように避難するか
- ・誘導方法
ハンカチ等を鼻と口に充てて、煙を吸い込まないよう姿勢を低くして避難する

⑥ 搬送方法

- ・自力で避難できない人は、職員が安全な場所まで搬送する必要があります。



⑦ 避難人員の確認

- ・最終避難場所では負傷者はいないか等について確認
- また、その日の利用者様数を確認し、人員点呼等により全員避難が完了したかどうか確認

⑧ 消防隊への情報提供

- ・全員避難したか？逃げ遅れはいないか？
- ・負傷者はいるか？
- ・出火箇所はどこか？何が燃えているか？燃えている範囲は？
- ・初期消火は成功したか？

⑨ 訓練実施結果の検証

- ・避難に要した時間
- ・通報は適切に行われたか？
- ・避難誘導は適切に行われたか？
- ・消火器に不備はなかったか？
- ・避難誘導時、搬送時の危険性はなかったか？
- ・指示は的確に伝わったか？
- ・通報、消火、避難誘導の連携はスムーズであったか？